

## 厳しい環境に置かれたこどもの意見聴取への取組状況（状況報告）

### 1 背景・経緯

第2回の子ども・子育て支援会議でいただいた「不登校など厳しい状況に置かれたこどもたちの意見も聞いてほしい」との委員のご意見を踏まえ、当該層のこどもたちと接点を持つ支援機関へのヒアリングを実施し、アンケートへの協力を依頼したものの。

### 2 ヒアリング実施状況

実施日	支援機関	活動概要	ヒアリング目的
R8.2.24	子ども食堂 A	・毎週月曜の朝と月1回土曜の午前中に子ども食堂を開催 ・地域サロンや食事の提供などを通じた多世代交流の場を提供	子ども食堂利用児童へのアンケート・ヒアリング実施に係る相談
R8.3.5	学習塾 B	・無料～月 4,000 円程度で利用できる学習塾（定員 18 名） ・食事つき個別指導 ・ボランティア指導員と連携	塾生へのアンケート・ヒアリング実施に係る相談

### 3 ヒアリングから把握した現状

#### （1）子ども食堂 A

- 不登校生徒へのヒアリングは保護者のメンタルの浮き沈みがあり難しいが、アンケートは可能
- こどもの意見聴取について、「こどもの声を聴くだけでなく、参画したと実感できるものにしてほしい」との意見があった
- 子育て中の保護者からゆっくり食事や交流ができると喜ばれている
- 特に県外出身者など地域に馴染みのない保護者が交流を求めて来訪するケースが多い

#### （2）学習塾 B

- 様々な理由により塾に行けない小中学生が対象
- 学習障害持つ生徒やひとり親など経済的に厳しい環境に置かれた生徒が多い
- 生徒へのヒアリングは難しいが、アンケートは可能
- 別途保護者へのヒアリングを検討中

### 4 アンケート配付状況

団体	配付部数	配付・送付日	回収期限
子ども食堂 A	計 40 部（小学生 20 部・中学生 10 部・高校生 10 部）	R8.2.26	R8.3.31
学習塾 B	全塾生（18 名）	R8.3.11	R8.3.31

### 5 今後の対応方針

- アンケート回収後、内容を分析し、計画への反映や今後の取組に活かしていく
- 引き続き厳しい環境にあるこどもの意見を聞くため、他の意見聴取手法についても検討し、取組を進める